

Syllabus Id	Syl.-092533
Subject Id	Sub-092004060
更新履歴	20090312新規
授業科目名	総合英語A (General English A)
担当教員名	種村俊介 (Tanemura Shunsuke)
対象クラス	M4, S4, D4, C4
単位数	2履修単位
必修 / 選択	必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義、演習
実施場所	各ホームルーム教室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

これまでに身につけた英語運用能力を土台に、多様なトピックを題材とした大学1年生レベルの英文を用いて、「内容理解」「語彙・重要表現・文法学習」「音読」「リスニング」を中心とした活動を行なう。黙って授業を聴いて理解するのではなく、読んだり聴いたりした内容を積極的に口頭で発表する態度を身につける。また、英文の内容理解に必要な語彙・重要表現・文法については、教科書を範囲とした定期試験や小テストにより習得する。加えて、読解力・語彙力の伸長を目指した活動或いは小テストを取り入れる。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校卒業程度の基礎的な文法知識、英文読解能力

学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D. 英語による実践的なコミュニケーション能力を育成する。			

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成と
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. 大学1年生レベルの英文を読み、内容が理解できるようになる。
2. 大学1年生レベルの英文を英語らしく音読できるようになる。
3. 身近な事柄について、口頭或いは文章で、自分の意見を表現することができるようになる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	授業の説明、評価の説明、アンケート、テスト等	
第2回	Unit 1	University Lifestyles	
第3回	Unit 1	University Lifestyles	
第4回	Unit 2	Career Choices	
第5回	Unit 2	Career Choices	
第6回	Unit 3	Telecommuting	
第7回	Unit 3	Telecommuting	×
第8回	前期中間試験		
第9回	Unit 4	Slow Food	
第10回	Unit 4	Slow Food	
第11回	Unit 5	The Lost Art of Conversation	
第12回	Unit 5	The Lost Art of Conversation	
第13回	Unit 6	See You in Cyberspace!	
第14回	Unit 6	See You in Cyberspace!	
第15回	前期期末試験		×

第16回	後期オリエンテーション		
第17回	Unit 7	Love in the Virtual World	
第18回	Unit 7	Love in the Virtual World	
第19回	Unit 8	The Wonderful World of English(es)	
第20回	Unit 8	The Wonderful World of English(es)	
第21回	Unit 9	The Wisdom of Crowds	
第22回	Unit 9	The Wisdom of Crowds	×
第23回	後期中間試験		
第24回	Unit 10	Be a Critical News Consumer	
第25回	Unit 10	Be a Critical News Consumer	
第26回	Unit 11	What s Your Carbon Footprint?	
第27回	Unit 11	What s Your Carbon Footprint?	
第28回	Unit 12	Ecotourism	
第29回	Unit 12	Ecotourism	
第30回	後期末試験		×

課題

各Unitの予習(内容は授業中に指示)、その他授業中に指示したもの

オフィスアワー:授業実施日の12:30 ~ 13:00

評価方法と基準

評価方法:

定期試験は、教科書と同程度の初見の英文からの出題とする。それに加えて、適宜、単語や文法、音読、聴解及び読解を中心とした小テストを授業時に実施する。さらに、授業中の発表や諸活動においての意欲的な姿勢、自主的な挙手による発言や予習を奨励する。

評価については、定期試験及び小テストの成績と共に、授業中の発表・諸活動による評価、授業に対する姿勢、学習意欲、提出物等を総合して行なう。

評価基準:

定期試験及び小テストによる評価・・・70～80%

授業中の発表・諸活動による評価・・・10～20%

積極的学習態度・提出物の内容による評価・・・10～15%

学習達成度自己評価・・・若干

教科書等	『World in Motion』 諸井孝子(金星堂)1,800円 英和辞典(毎回持参) DB4500(購入済)(必要に応じて使用) 英語図書・英字新聞記事(教員が用意)
先修科目	総合英語A・B、英語W、英語C
関連サイトのURL	ALC NetAcademy2 https://nct-na.numazu-ct.ac.jp/anet2/
授業アンケートへの対応	状況(理解度、テキストの難易度等)に応じて進度は適宜変更する。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。